



個別指導
SOUMEI塾

SOUMEI 通信

Vol.20 2016年3月

SOUMEI 通信 Vol.20
2016年3月22日
個別指導 SOUMEI 塾
塾長 条井利章
松本市石芝 3-2-18
中嶋ビル 1F
TEL:0263-31-5256



平素はたいへんお世話になっております。塾長の条井です。受験生の皆さんと保護者の皆様もお疲れ様でした。今年度も SOUMEI 塾生は公立後期試験に全員合格することができ、たいへん嬉しく思います。

今年度は、受験後も塾に自習をしに来ている子が多く見られ感心しました。自ら勉強に向かう、素晴らしいですね。



間違っていた？勉強法 脳のしくみに合った勉強法とは③

学習における落とし穴

学習においては繰り返しが必要であることをお伝えしてきました。そんなこと当たり前でしょ？と言われそうですが、私たちがついしてしまうような間違いもありますのであげておきます。

①たくさん書けば覚えられる？

これは常識的にそう思われていることですが、本当でしょうか？例えば長野県には白文帳があります。これは他県にはないものなので、長野県の中学生は他県に比べて圧倒的に多く漢字を書いているはずですが、しかし、漢検の合格率などを見ても特別長野県の学生が高いわけではありません。つまり、あまり有効な方法とは言えないということです。さらに、たくさん書くことによって学習した気になってしまい、覚えたかの確かめをしなくなってしまう弊害があります。ただ、白文帳を否定しているわけではなく、やるならもっと有効に使う工夫をすべきだと思います。

②忘れることを忘れる

私たちは日常生活でも、自分の脳が「忘れる」ようにできていることを忘れていることがあると思います。そのことを防ぐ＝備忘のために、メモがあり、スマホにも「リマインダー」が標準装備されているのに。つい、「覚えていられるだろう」と自分の脳を過信してしまうのです。

私がふだん子ども達を指導していてこんな子をたまに見かけます。解けなかった問題を私が解説をして理解できると「わかった！」と喜ぶのですが、それで満足したかのように、ノートも取らず次に進むうとするので、私が慌てて、その子にノートを取る

ように促します。単にノートを取るのが面倒だという場合もあると思いますが、往々にして、自分がそのことを近い未来に忘れることを忘れているのです。このようにノートを取ることをさぼる意識のない真面目な子の場合でも、忘れることを忘れるということはよく起こります。一旦理解して、ノートも書いたので、それで満足して、テストでは思うほど点数が伸びない、という結果になります。これは心理学で「流暢性（りゅうちょうせい）が招く幻想」と呼ばれる現象だそうです。「流暢性」とは、物事を速やかに処理できる能力のこと。一旦覚えたことで、数日後も思い出すことができるのだと、無意識的に錯覚してしまうのです。具体例としては、教科書や参考書にマーカーで線を引く、とったノートを書き写す、覚えた直後に同じことを勉強する、などです。肝心なのは、前回書いたように、**期間をおいて、自己テストをするという繰り返し**です。

③音楽を聴きながらする勉強はよいのか

勉強中の音楽が記憶を高める効果を持つという研究があります。記憶は、環境からの刺激によってより強め、思い出すための手がかりが増えるのだそうです。静寂よりも音がある方が効率上がる。実際、雑音のあるカフェでする仕事や勉強が意外とはかどったりもします。しかし、音楽による良い影響は限定的なようです。テストや入試のときに音楽を聴きながらできたらよいのかもしれませんが、そんなことはできないのです。また、特に歌詞のある音楽はそちらに意識を取られがちなので、明らかに勉強の効率は落ちるでしょう。勉強時間を無駄にしないためにも、聴きながらはやめましょう。

速報！H28 公立高校入試の傾向



新傾向さらに強まる<論述問題の増加>

3月9日に行われた公立高校後期選抜試験の問題傾向について速報でお伝えします。対策については回を改めてお伝えする予定です。

今年は一昨年、昨年に引き続き、さらに大きな変化が見られました。これらの変化は、この通信でもお伝えしてきた私の予想通りのものではありませんでしたが、ここまで大胆な変化があったのには私も驚きました。ここ10年ほどの中で最も大きな変化の年だったといえます。各教科に共通する要点は、<論述・記述問題の増加>です。

<英語>

記述では、2年前から出題されるようになった自由作文の問題が今年も出題されました。また、単語を答えさせる問題も、答えが一つでない自由度の大きな問題となったところが特徴的でした。また、使う単語は基本的なものでも、構文力が必要となってきました。

一方、文法では昨年までほとんど出題されなかった、不定詞・動名詞の用法を問う問題が出題されました。最近の傾向では、文法知識よりも読解力・表現力を重視していただけない、やや異質な感じを受けた問題でした。

<数学>

全体の構成は変わりませんでしたが、新傾向である、解き方・考え方を問う問題がさらに増え、

論述形式の問題が目に見えて増えました。理解するだけでなく、言葉で説明する力も必要となるので、普段から、ノートに答えだけでなく解き方を書く習慣を身に付けたいです。

<国語>

大問の構成は昨年と変わりませんでしたが、問1で80字以上100字以内というこれまではなかった長い論述問題が出題されました。文法では、頻出の動詞の活用に加えて、品詞分類が出題されました。また、これまであまり出題されていなかった「熟語の構成」が出題され、文法についても広い知識が要求されています。古文についてはオーソドックスな問題でした。

<理科>

大問の構成は変化なく、広く各分野から出題されました。内容では、昨年は記述問題が増えましたが、今年度はさらに、理由を説明する論述問題が多く出題されました。必要な知識は基本的な事柄だけですが、より一層、知識だけにとどまらない理解と表現力が必要となってきました。

<社会>

大問の構成は昨年に続き大きな変化がありました。昨年までは、地理、歴史、公民がそれぞれの大問となっていました。今年度は、それに加えて、問1で地理・歴史・公民の融合問題が出題されました。これは私も以前から予想していたのですが、大問まで変わったのには驚きました。

すらら学習ランキング

すららの学習量の校内ランキングです。

<期間>2016年2月21日～3月21日まで ※名前はハンドルネーム

【学習時間ランキング】

- 1位 17時間40分45秒：LOVE LAIKA
- 2位 16時間42分29秒：TKM like KKRK
- 3位 15時間06分06秒：マイアミ
- 4位 13時間10分27秒：SNT
- 5位 11時間12分37秒：cba
- 6位 9時間22分16秒：pocky sweets
- 7位 8時間29分28秒：てくっち
- 8位 8時間10分53秒：ななしさん
- 9位 7時間59分44秒：Alpha
- 10位 7時間46分44秒：★7ゆいが



【クリアユニット数ランキング】

- 1位 44ユニット：TKM like KKRK
- 2位 42ユニット：pocky sweets
- 3位 31ユニット：Alpha
- 4位 30ユニット：SNT
- 5位 28ユニット：LOVE LAIKA
- 6位 25ユニット：てくっち
- 7位 24ユニット：つっちー
- 8位 23ユニット：マイアミ
- 9位 17ユニット：ななしさん
- 10位 15ユニット：daiki



お知らせ

●高校生コースのお知らせ（高1・2） ※継続生については3年生まで通塾可能になります

高校の学習内容は、中学に比べて一段と難しくなります。「すらら」の高校版もたいへん良い教材になっています。使い慣れた「すらら」で高校の勉強もスムーズに進めていきましょう。高校生コースご継続の方は3月中は追加料金なしでお通いいただけます。

また、これまで高校生コースは、高校1、2年生に限って受け入れてきましたが、中学コースからの継続生に限っては3年生も続けてお通いいただけます。

お申し込みは、別紙ご案内をご覧ください。

●ご紹介について

春期講習が間もなく終わり、新年度が始まります。現在、火曜日、水曜日を中心に座席が既に埋まってきており、夏には満席でお断りすることもあり得る状況となってきました。残席につきましては、在校生とその保護者の方からのご紹介を優先させていただきたいと考えております。ご紹介などございましたら、お早目にお知らせくださいますようお願い申し上げます。

新規生をご紹介くださるときは「ご紹介カード」をお使いください。ご紹介者の方には2,000円の図書カードを進呈させていただいております。ご紹介カードはいつでも配布いたします。



教室のひとコマ

冒頭にも書きましたが、高校に合格してからも自主的に塾に来て勉強をしている姿が昨年より多く見られます。後期試験前のことですが、中にはこんな子もいました。自分の合格が前期試験で決まった後、後期試験に向けて頑張っている友達のために勉強のサポートをしていたのです。「友達にも絶対合格してほしい」と、必要なプリントや教材を整理して渡してあげたり、さらには、時間をかけてまとめノートを作って渡してあげたりしていました。私はそのノートを見たとき、なんてやさしいのだろう、涙が出そうでした。受験が早く終わった子は気が抜けて遊んでしまうことが多いと言います。しかし、SOUMEI 塾では、友達のためにそこまでできるやさしさや、自主性の高さを見ることができて嬉しい思いです。

ちょっと紹介

4月10日（日）午前9：30～、松本市の合気道の各道場が一堂に会して、春の演武会が開催されます。

私が通う道場「千帆の館」からは、大人の部、子どもの部それぞれから出場します。子どもの部には下は小学校1年生から中学生までが発表します。私も演武をします。お暇があれば見に来てください。

合気道は護身術でもあり、力や体格による差がなく、男性も女性も同じように学び身につけることができます。身体能力を高めるだけでなく、精神面の強化も同時にできる素晴らしい日本の「道」のひとつだと思います。「千帆の館」には、子どもと一緒に稽古をしているお母様方も多くいらっしゃいます。美容と健康にもたいへんよいと思います。



保護者様もお子様と一緒に合気道を体験してみたいはかがですか？

塾長雑感

◇今年も高校受験が終わり、みな無事合格が決まりほっとしております。当塾は、当初の学力は高い低い関係なく受け入れていますので、行き先の高校の偏差値は様々ですが、塾全体の平均値としては年々高くなっています。上位校では、今年は県ヶ丘高校に3人合格しました。来年は私の母校の深志にも入ってほしいと思うのですが、なぜか「あがたの方がいい」という声が多くてやや寂しい思いです。昔と今ではだいぶ雰囲気は変わったようですが、深志の自主を養う伝統もいいですよ。◇先日、中学の卒業生たちで、受験の打ち上げ・卒業記念パーティーを開催しました。例年、違う中学の子どうしも仲良くなっていて私も嬉しく思います。同じSOUMEI 塾出身生として羽ばたいて行ってほしいです。